

エ. たつのご級図画工作科学習指導案

1996年7月9日(火) 2校時

指導者 野島禎雄

児童 3名

1. 題材名 「みどりがいっぱい」 (大型作品の共同制作)

2. 題材について

本学級は1年女子1名、3年男子1名、4年男子1名の子ども達である。単語程度の言葉を持っており、「ぐるぐるまる」を大きく豊かに描いている子、丸や線を意識的に繰り返し描いて想像しながら遊んでいる子、顔らしきものを描いて「おかあさん」と意味づけできる子とがいる。しかし、なぐりがきの段階で足踏みしていたり、パターン化した絵からぬけだせないなどの問題もある。

子ども達は公園への散歩が大好きで、緑の木々の下をとびまわって遊んでいる。そこで、緑がいっぱいの公園で十分遊んだ後、共同で公園の絵を描くことにした。

形にならないなぐりがきの段階の子どもでも、形のある絵を描く子に刺激されて楽しく取り組めたらと思う。それぞれの発達段階の子が、それぞれに力を出し、お互いのないものをうめあう中で大きな作品を完成させたい。

3. 学習のねらい

- ①感覚や感情を豊かにし、描く力を育てる。
- ②目や手指の働きを豊かにする。
- ③道具を使えるようにする。
- ④みんなと作ったことを喜びあえる。

4. 学習過程

1	3カ月	公園(ひまわり公園や谷戸山公園など)で遊ぶ
2	450分(10時間)	クレヨンで木や遊具を描く
3	180分(4時間)	緑の絵の具で塗る
4	90分	みんなで作った作品を鑑賞する

5. 材料と用具

(教師) 模造紙3枚、はけ、筆、絵の具、クレヨン

6. 展開

過程	学習活動	○教師の働きかけ ☆評価
1	<p>公園へ行こう</p> <p>緑いっぱいの公園で 楽しく遊ぶ</p>	<p>○どんな遊具があったか、何が楽しかったか、 緑がいっぱいということなどを意識させる。</p>
2	<p>公園を描くよ</p> <p>木や遊具をクレヨン で描く</p>	<p>○大きな紙に自由にのびのびと描かせる。 ○友達の描いたものを見せたり、言葉かけを しながら、みんなで作りあげていくことを意 識させる。 ☆自分の力に応じて楽しく描けたか</p>
3	<p>本時</p> <p>みどりがいっぱい</p> <p>模造紙を緑の絵の具 で塗りつぶす</p>	<p>○刷毛や筆を使って、のびのびと色塗りをさせ る。 ○様子を見ながら、援助する。 ○同じ場所ばかりを塗り続ける子がいるので 紙全体に塗るように気づかせる。 ☆用具に積極的に関わり、色塗りを楽しんでい たか</p>
4	<p>みんなで作ったね！</p> <p>作品を鑑賞する</p>	<p>○教室に掲示して、自分の描いたところを発表 させる ○みんながんばったことを確認</p>

7. 評価

- ・友だちを意識しながら、楽しく製作に取り組めたか。
- ・用具に積極的に関わり、色塗りを楽しんでいたか